



慶應義塾大学出版会 新刊案内

2022

11月



印のついている本には特にご注目下さい。平積みいただければ幸いです。

〒108-8346 東京都港区三田 2-19-30

Tel: 03-3451-6926 / Fax: 03-3451-3124

<http://www.keio-up.co.jp/>



または



分析フェミニズム基本論文集



木下頌子（慶應義塾大学通信教育部非常勤講師）・渡辺一暁（在野研究者）・

飯塚理恵（エジンバラ大学哲学部博士課程在籍）・小暮泰（東京都市大学など非常勤講師）【編訳】

ココに注目！

- ・女のための哲学がここにある——。
- ・空前の盛り上がりをもせるフェミニズム哲学を代表する論文集！

「分析フェミニズム」分野の重要論文を紹介する作品。分析フェミニズムは、英米系の分析哲学と呼ばれる潮流の中で、フェミニズムに関する様々な問題に取り組む学問であり、「女性概念をどう定義すべきか」「ボルノグラフィにはどんな悪さがあるのか」といった問いに分析哲学の手法を用いて答えていく。

税込予価 **3,300 円** A5 判並製 / 304 頁

ISBN 978-4-7664-2855-1 C3010

対象：分析哲学を専攻する研究者、
フェミニズムに興味のある読者

部数：★★★★★

配本予定：11 月上旬

類書 稲原美苗・川崎唯史・中澤瞳・宮原優編

『フェミニスト現象学入門』（ナカニシヤ出版）

【刊行記念フェア企画中!】

【タイトル】哲学のなかのフェミニズムを考える

【概要】女性にとって哲学とは何なのでしょう？ 哲学は女性にたいして何ができるのでしょうか？ 現在英米圏を中心に盛りあがっている「分析フェミニズム」とは、分析哲学のなかでフェミニズムに関わるさまざまな問題に取り組む潮流です。今回のブックフェアでは、男性に占有されてきたと言っても過言ではない「哲学」を、「女性」という新たな視点から捉えなおします。※下記のブックリストは選書の一部です。（最終的には 30 冊程度まで増やします。）

	書名	著者	出版社	刊行年
1	哲学の女王たち	レベッカ・バクストン・リサ・ホワイティング【編】／向井和美【訳】	晶文社	2021
2	ひれふせ、女たち	ケイト・マン【著】／小川芳範【訳】	慶應義塾大学出版会	2019
3	フェミニスト現象学入門	稲原美苗・川崎唯史・中澤瞳・宮原優【編】	ナカニシヤ出版	2020
4	日常生活に埋め込まれたマイクロアグレッション	デラルド・ウィン・スー【著】／マイクロアグレッション研究会【訳】	明石書店	2020
5	社会科学の哲学入門	吉田敬【著】	勁草書房	2021
6	妊娠中絶の生命倫理	江口聡【編・監訳】	勁草書房	2011
7	差別の哲学入門	池田喬・堀田義太郎【著】	アルパカ	2021
8	差別はいつ悪質になるのか	デボラ・ヘルマン【著】／池田喬・堀田義太郎【訳】	法政大学出版局	2018
9	フィルカル Vol.5 No.3	フィルカル編集部【編】	ミュー	2020
10	悪い言語哲学入門	和泉悠【著】	ちくま新書	2022

※本書は、2022 年 10 月号にて、11 月イチ押し新刊としてご案内を差し上げております。

部数は、★で約 500 部を表します。

注文が重複した場合には「多い方の発注数」にて対応させていただきます。



神経症的な美しさ



アウトサイダーがみた日本

モリス・バーマン (文明批評家) [著] /

込山宏太 (青山学院大学文学部英米文学科助手) [訳]

🔍 ココに注目！

- ・「異端の思想家」バーマンがみた「日本の可能性」とは何か？
- ・「黒船」以降の近代、アメリカの影響下で日本人の精神はどう変容してきたか。
- ・変わらない日本人の精神、文化の特徴を「古きものの現代化」として捉える。

禅、民芸、京都学派、小説、アート、オタクカルチャーなど、広範囲にわたる文化事象を参照しながら、日本の精神と文化がアメリカとの接触の中でどう変容してきたかをたどり、その中にアメリカ型資本主義の限界を越える可能性を見出す。『デカルトからベイトソンへ』の思想家が贈る骨太の日本人論。

税込予価 **4,180 円** A5 判並 f 製 / 352 頁

ISBN 978-4-7664-2856-8 C0010

対象：現代思想や日本文化論に関心のある一般読者

部数：★★★★★

配本予定：11 月上旬

関連書 モリス・バーマン『デカルトからベイトソンへ
世界の再魔術化』(文藝春秋)

【営業部からのおすすめポイント】

モリス・バーマンによる著作の邦訳は『デカルトからベイトソンへ』が知られていますが、そのシンプルで力強い近代科学糾弾の筆致により多くの読者に鮮烈な印象を残しました。本書では「禅」から「オタクカルチャー」まで、長い時間軸で豊富な文化事象を参照しつつ、東洋と西洋、近代と伝統とのあいだで揺れ動く日本人の精神性に「光」と「影」の両方を見出していきます。著者のバーマンは日本での取材を実際に行い、膨大な日本論を参照しているため、説得力のある密度の高い内容に仕上がっています。本書に関連したミニコーナーを右ページでご案内していますので、併せてぜひ積極的な展開をよろしくお願いいたします。

(福本)

※本書は、2022 年 10 月号にて、11 月イチ押し新刊(旧タイトル:「古きもののモダニズム」)としてご案内を差し上げております。注文が重複した場合には「多い方の発注数」にて対応させていただきます。

【『神経症的な美しさ』刊行記念ミニコーナーのご提案】

日本の「失われた 30 年」は本当に「失われた」ものだったのか？ 「日本的なもの」の可能性を再考するための本を選びました。ぜひ、棚作りや関連書コーナー作りにご活用ください。

※ミニコーナーを展開されるお店には、POP と小冊子をご提供いたします。別紙注文書にてお申込みください。

なお、下記の他社書籍は別途ご手配ください。

【①「日本論」の古典】

書 名	著 者	出版社	ISBN	定価(円)
逝きし世の面影	渡辺京二	平凡社	9784582765526	2,090
▶明治初期に日本を訪れた外国人の「眼」を通して見た日本。				
キモノ・マインド	バーナード・ルドフスキー	鹿島出版会	9784306050761	2,200
▶文明批評家によるユニークな日本論。				

【②アメリカと日本】

書 名	著 者	出版社	ISBN	定価(円)
アメリカの世紀と日本	ケネス・B・バイル	みすず書房	9784622089360	5,280
▶戦後日本にいかにかアメリカが影響力を及ぼしたかをアメリカ側から考える。				
戦後入門	加藤典洋	筑摩書房	9784480068569	1,540
▶「アメリカの影」とは何か。戦後日本人の歴史観の「ねじれ」を考える。				

【③「日本的なるもの」の可能性】

書 名	著 者	出版社	ISBN	定価(円)
日本文化の核心	松岡正剛	講談社	9784065187739	1,100
▶セイゴオが考える「日本的なるもの」入門編！				
江戸とアバター	池上英子・田中優子	朝日新聞出版	9784022950628	979
▶仮想空間カルチャーに通じる江戸文化を紹介。				

【④「ポスト資本主義」としての日本】

書 名	著 者	出版社	ISBN	定価(円)
なぜヨーロッパで資本主義が生まれたか	関暁野	NTT出版	9784757143463	2,640
▶西洋と日本の歴史を思想的に比較検討する。				
日本再興	増田悦佐	ビジネス社	9784828423449	1,980
▶日本の特異性を世界史を通して評価。現代経済の未来を江戸にみる。				

【⑤サブカルチャー的日本】

書 名	著 者	出版社	ISBN	定価(円)
動物化するポストモダン	東浩紀	講談社	9784061495753	924
▶オタク文化の可能性を現代思想として考察した、今や古典的な論考。				
見果てぬ日本	片山杜秀	新潮社	9784103397113	1,980
▶過去・現在・未来にこだわった作家を通じ戦後日本を考える。				

【+ 1「バーマンの思想的バックボーン」】

書 名	著 者	出版社	ISBN	定価(円)
精神と自然	グレゴリー・ベイトソン	岩波書店	9784003860182	1,243
▶バーマンの思想のバックグラウンドにあるベイトソンの思想入門。				



慶應義塾大学三田哲学会叢書 ars incognita

デジタル世界図絵

ヴァーチャル・ミュージアムの取組み

眞壁宏幹（慶應義塾大学文学部人文社会学科教授）・眞壁ゼミ〔著〕

ココに注目！

- ・大学のゼミで取り組む「デジタル世界図絵」の作成で学生は自己形成をどう捉えていくか。
- ・具体的事例とともに、教育学の分野で注目される「アートベース教育」の可能性を提示する。

近年、教育学の分野で注目される「アートベース教育」。その一例として、慶應義塾大学文学部・眞壁ゼミでは、自分がこれまで関わってきた人やモノを通して自己形成について考察を深めることを目的に「ヴァーチャル・ミュージアム デジタル世界図絵」という取り組みを行っている。その具体的事例とともに、教育的可能性を提示する。

税込予価 **770 円** 新書判並製／112 頁

ISBN 978-4-7664-2859-9 C0370

対象：教育学／美術研究者

部数：★★★

配本予定：11 月上旬

類書 学び続ける教育者のための協会編／坂田 哲人ほか著
「リフレクション入門」（学文社）

【三田哲学会叢書 関連既刊】

小さな倫理学入門

定価 **770 円** 新書判並製／104 頁 ISBN 978-4-7664-2276-4 2015 年 10 月

山内志朗 著

コミュニケーションの哲学入門

定価 **770 円** 新書判並製／108 頁 ISBN 978-4-7664-2392-1 2016 年 12 月

柏端達也 著

アーツ・マネジメントの基本

定価 **770 円** 新書判並製／120 頁 ISBN 978-4-7664-2766-0 2021 年 9 月

中尾知彦 著

人間は利己的か イギリス・モラリストの論争を読む

定価 **770 円** 新書判並製／120 頁 ISBN 978-4-7664-2821-6 2022 年 4 月

柘植尚則 著